



電子薬歴システム KY2

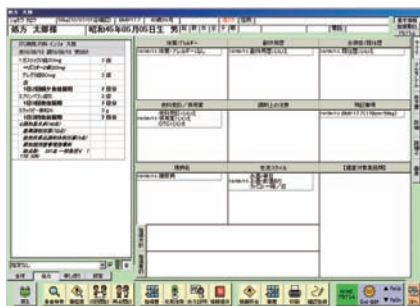
「この薬局にきてよかった」と言われるワンランク上の服薬指導と、効率の良い薬歴作成を実現

- 患者様へ服薬指導した内容で、自動的に薬歴の作成が可能
- 患者様のヒアリング情報を元に、何を指導および確認すべきかがわかり、服薬指導のスキルアップが可能
- 待ち時間を利用した先指導で、患者様の待ち時間をゼロへ
- SOAPセットマスターで簡単SOAP入力
- ハイリスク薬についての指導文章も標準搭載

■主な業務機能紹介

●患者様へ服薬指導をしながら 指導内容の入力が可能

見やすく役立つ画面で、入力は画面をクリックするだけで簡単に行うことができ、患者様と一緒に画面を見ながら服薬指導を行い、同時に薬歴も作成できます。これにより、服薬指導が終了した時点で薬歴入力が7～8割完了し、薬歴作成時間の大幅な削減が実現します。服薬指導を行う時間が十分に取れない場合でも手すきの時にメモをもとにまとめて入力できますので、薬局様の運用状況に合わせてご使用頂けます。また、入力内容を薬局様毎でテンプレート化することで、よりスムーズな服薬指導を行うこともできます。



●服薬指導のスキルアップが可能

服薬指導標準パスにより指導すべき内容が問診という形で表示され、ヒアリング事項へのアクションを適切な形でアドバイスします。これにより、一定の服薬指導を行うことができ、服薬指導スキルの向上につながります。

●待ち時間を利用した先指導で、 患者様の待ち時間ゼロへ

患者様の待ち時間を利用して服薬指導を行うことができるため、以下のメリットがあります。

- ①調剤完了までに指導を終えている事により、お薬をお渡しするまでに患者様は待たされたという気持ちがなくなります。
- ②早い段階での疑義照会を行うことができ、調剤ロスが軽減できます。
- ③後発品の確認もスムーズに行うことができ、後発品使用促進を手助けします。

●添付文書

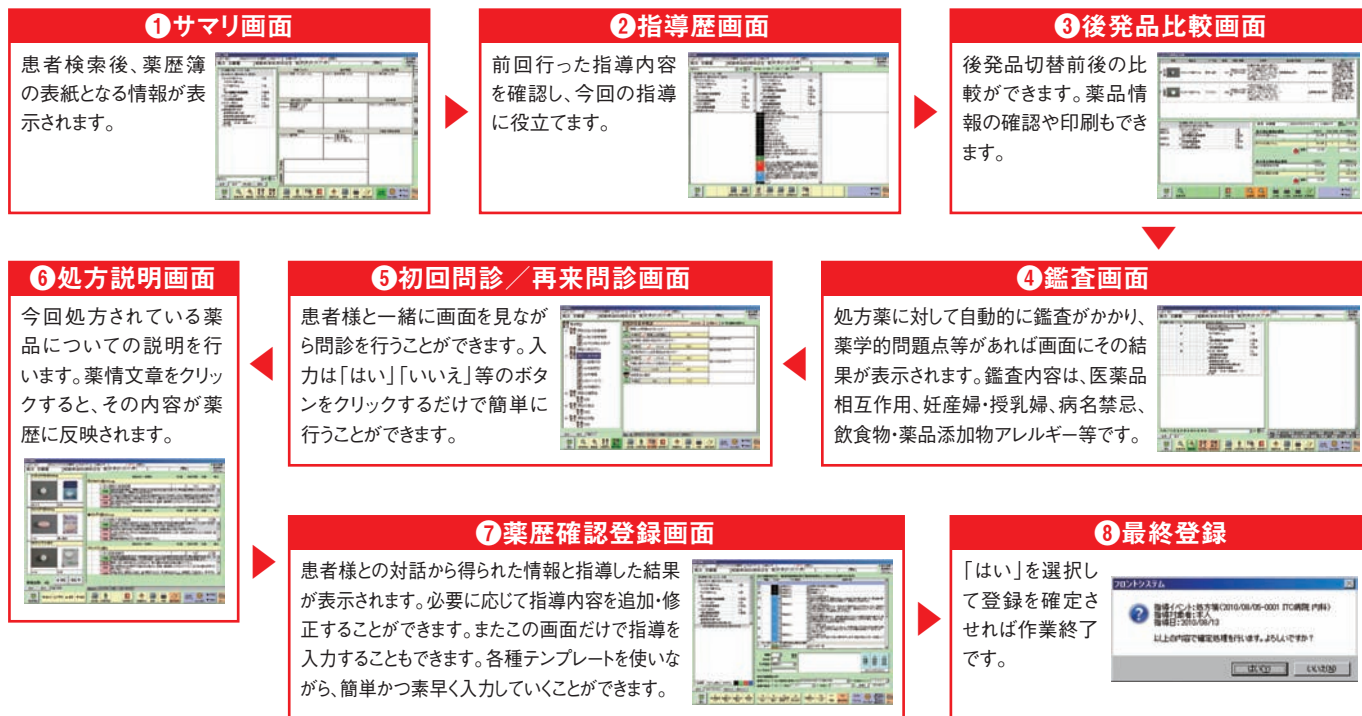
インターネット接続環境であれば、各画面で薬品名をクリックすると添付文書を確認でき、文章を指導文として引用する事もできます。添付文書は毎日更新されるため、常に最新の情報を確認できます。



●簡単でわかりやすく、カスタマイズ可能な 服薬指導および薬歴作成の作業フロー

指導に沿って並んだボタンをどの画面からでも確認できるため、次に何をすればよいのかがわかります。さらに画面右下の「次へ」ボタンを押すと、薬局様に設定された順番で画面が移動するナビゲート機能も搭載されています。

薬歴作成の流れ例



服薬指導標準パス

問診画面では処方薬、剤形、診療科、疾患、患者特性から確認・指導すべき内容が自動的に表示されます。

問診に対してヒアリング内容(=S情報)を入力すると、そこから考えられる薬学的判断(A)と指導内容(P)が表示され、標準的な指導内容を参考情報として表示できます。

指導した内容はクリックすることで薬歴に反映されますので、患者様と対話しながらの薬歴作成が可能となり、薬歴作成時間を短縮することができます。



ハイリスク薬に対する服薬指導

ハイリスク薬が処方されているかが一目でわかり、それに対する指導内容のテンプレートも用意されているため、指導漏れがありません。



【企画・開発・販売・保守】

インフォテクノ株式会社

本社:〒060-0061 札幌市中央区南1条西11丁目327-20 ITCビル
 TEL 011-223-6660 FAX 011-223-6661
 関東支社:〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19-3 日通商事ビル8F
 TEL 045-442-0671 FAX 045-442-0681
 URL <http://www.infot.co.jp/>
 E-Mail eigyout@infot.co.jp